

企画提案書

1 プロジェクト名

静岡市フードドライブ強化プロジェクト

2 実施理由・背景

日本では、まだ食べられるのに様々な事情により処分されてしまう、いわゆる「食品ロス」は年間523トンと推計されている。一方で、生活に困窮し、明日の食にも事欠く人が増加している。

この2つの矛盾した社会課題を結びつけ、企業などより捨てられてしまう食品の寄贈を受け、生活に困った人に無料で配布する活動がフードバンクである。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の縮小により、生活に困り、食を求める依頼件数は倍増した。新型コロナウイルスの終息がみえないなか、物価高騰による家計圧迫といった問題も出てきており、食品ニーズは拡大している。食品ロス削減推進法が施行され、国民の食品ロスに対する意識も向上しているが、当方で行っている「フードドライブ」では、物価高騰のあおりを受け、集約する食品の量も減少している。

当事業では、家庭からの食品を広く回収するイベントである「フードドライブ」を強化し、静岡市における認知度も上げ、様々な立場の人と連携して活動を行い、食品ロス・生活困窮問題に寄与することを目的とする。

3 プロジェクト内容説明・スケジュール

静岡市においては、主に静岡市役所生活支援課、ごみ減量推進課、静岡市社会福祉協議会等と連携し、フードバンク活動を推進しているが、連携団体のさらなる増加・深化を目指すため、次の事業を行う。

- 2024年 8月 夏季フードドライブ開催
- 2024年 9月 夏季フードドライブ仕分け作業
- 2024年10月 食品ロス削減推進月間に伴う啓蒙活動
- 2024年 1月 冬季フードドライブ開催
- 2024年 2月 冬季フードドライブ仕分け作業

その他、随時、個別フードドライブや出前講座など、啓蒙活動を行う。

4 目指すところ

静岡市内のフードバンク及びフードドライブの認知度を向上させ、食品ロスの削減ならびに一人でも多くの生活困窮者に対する支援を行うことを目的とする。

5 寄附の使い道

フードドライブ開催にかかる費用

食品回収BOX、のぼり等の消耗品に係る費用

備品の郵送・配送費用

集まった食品を仕分け会場へ送る費用

仕分けに使用するガムテープなどの事務用品

仕分けに使用するダンボール購入費

6 ネクストゴールの設定

ネクストゴール設定額：956,000円

ネクストゴール設定時の事業計画

自己負担額（456,000円）なしで事業を行う。

7 目標金額に満たない場合

自己負担額を増額して実施する。

8 団体紹介

「食品ロス」と「生活困窮者支援」の2つの課題解決をミッションに、2014年5月に設立。同年10月にNPO法人として認証され、2017年3月に認定NPO法人となった。

コロナ禍において食品依頼件数および食品寄贈総量が増加し、2022年度は依頼件数が4,414件（コロナ前比154%）、食品寄贈総量が80トン（同148%）となった。

9 広報計画

次回（12月）、次々回（3月）の理事会において、当事業の計画を丁寧に理事に説明し、理事の協力を得る。

寄贈イベントの「冬季フードドライブ」の開催時期である1月、仕分け作業を行う2月に、重点的に告知を行う。

10 目標金額

500,000円

積 算 書

団体名：特定非営利活動法人フードバンクふじのくに

収入			千円
	科目	内容・数量	金額
ふるさと寄附金 自己資金			千円 500
			485
合 計			985 千円

支出			千円
	科目	内容・数量	金額
事 業 費	消耗品費	事務用品 (20 千円) 食品回収用・仕分け用段ボール (150 千円×2 回)	千円 320
	車両費	ガソリン代	20
	印刷費	フードドライブ実施に係るチラシ・ポスター (80 千円×2 回)	160
	通信費	備品・チラシ等郵送 (40 千円×2 回) 食品輸送費 (140 千円×2 回)	360
	旅費	コインパーキング代	10
そ の 他	手数料相当	12% + 税	千円 115
合 計			985 千円